

平成27年度第3回東海村国民健康保険運営協議会会議録

1	開催日時	平成28年2月24日(水) 13時30分から14時30分まで
2	場所	東海村役場 行政棟401会議室
3	出席者 (敬称略)	< 公益代表委員 > 岡崎 悟, 舛井 操 < 保険医代表委員 > 尾形 孝, 石川 誠 < 被保険者代表委員 > 鈴木 とよみ, 井坂 愛子 < 事務局 > 中村福祉部長, 富田福祉保険課長, 高野福祉保険課長補佐, 齋藤福祉保険課係長
4	欠席者	なし
5	公開又は 非公開の別	公開
6	非公開の理由	—
7	議題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について ・平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計予算(案)について ・東海村国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(案)について
8	配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算要求説明書 ・平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計予算説明資料 ・東海村国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(案)
9	発言内容	<p>■議事進行 会長</p> <p>■議題</p> <p>事務局) 平成27年度東海村国民健康保険事業特別会計補正予算(案), 平成28年度東海村国民健康保険事業特別会計予算(案)及び東海村国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(案)について説明。</p> <p>委員) データヘルス計画とは, 生活習慣病を減らすことを目的とした計画というように捉えてよいか。</p> <p>事務局) そのとおり。現状を分析した結果から目標を立て, 事業実施計画の中にも目標として立てている。通常5年程度を見越した計画であるが, 今回のデータヘルス計画の期間は平成27年度から平成29年度までの短期間となっている。これは, 平成30年度に特定</p>

<p>9 発 言 内 容</p>	<p>健診の実施計画と併せて計画を策定し直すよう国から指示が出ているためである。今回は次回の計画につながるデータの分析や抽出を行っていきたいと考えている。</p> <p>委員) 受診勧奨者とは特定健診受診者のうち精密検査を要する者というように解釈して間違いはないか。また、精密検査を要する者の生活習慣を変えることは難しいと考えられることから、幼少期から食生活などの計画を立てて健康維持に努めることも必要ではないか。</p> <p>委員) 働いている世代の健診受診率が特に低い。休日にも健診を行った方がよいのではないか。</p> <p>事務局) 受診勧奨者に対する認識は、精密検査を要する者と解釈していただいて間違いはない。また、健診は、現在土曜日は実施しているが、日曜日は未実施である。今後そのような対策も必要であり、定期的な受診により、早期発見・早期治療につなげていきたいと考えている。</p> <p>委員) 40～50歳代の男性の特定健診の受診率が低い理由は、会社等で既に受診しているためか。</p> <p>事務局) 国民健康保険の加入者を対象としている。自営業者等が多く加入しているが、なぜ健診を受診しないのか、今後アンケートの実施も考えている。</p> <p>■その他事項</p> <p>事務局) ・新国保制度の概要等について ・国民健康保険税税額改定の広報掲載について</p> <p>委員) 特定健診の結果と一緒に、とうかいヘルスマイレージのポイントカードが同封されて送られてきた。すばらしい取組みだと思う。</p>
<p>10 結 果</p>	<p>議題について了承。</p>